

セルコートアグリ CellcoatAGRI

特徴/characteristic

- ・農薬を使用することなく野菜、果実および樹木を丈夫にし、且つ害虫除去および病気も抑止することが可能となり無農薬栽培に適しています。
- ・セルコートアグリの付着した野菜および果実は人の口に入っても全く無害です。
- ・新しい葉に散布されたセルコートアグリは耐久性に優れており散布回数が減ります。
- ・セルコートアグリは雨などですぐに流れ落ちることはありません。
- ・植物の炭酸同化作用や呼吸に全く影響がありません。
- ・サクランボ、トマト等の裂果を防ぐことができます。
- ・殺菌剤、殺虫剤と混用できますが、通常の濃度では薬害が発生しますので使用する農薬を5～7倍に薄めて使用します。(1000倍の場合5000～7000倍)
- ・マルハナバチ使用時にも影響がございません。
- ・シルバーリーフコナジラミ、オンシツコナジラミ、スリップス等の羽根の付いている害虫が発生している時はシーテン(当社製)を0.1%散布液に加えて散布します。
- ・農薬を散布した後にセルコートアグリを散布すると薬害が発生します。
(農薬ごと農作物をコーティングしてしまうため)
農薬を落とす(水の中に3%の酢を入れたものを散布)または14日後に散布を行って下さい。
- ・農薬ではないのでドリフト(他の農園に風等で農薬が飛散すること)が適用されない。
- ・セルコートアグリが葉の表裏にきちんと付着するよう散布は丁寧に行ってください。
- ・できる限り細霧(50 μ m～60 μ mのノズル推奨)で散布するようにして、ムラのないように気をつけて散布を行ってください。
- ・塩害対策として使用可能です。

安全性/safety

- ・原材料である有機カルシウムとセルロースは医薬品でまったく無害です。

用途/usefulness

- ・ミニトマトやフルーツトマトの割れ及びサクランボやブドウの裂果を防止します。
- ・シルバーリーフコナジラミやオンシツコナジラミ対策として利用します。(トマト等)
- ・ダニ、コナガ、アメリカシロヒトリ、スリップス対策として利用します。(他栽培物)
- ・丈夫で病害虫に強い栽培が可能です。カーネーション、ユリ、キク、ストック、チューリップおよびベゴニアなどの花に使用できます。また球根に散布すると病害虫を防ぐことが可能となり保存性がよくなります。

【使用方法】

1. セルコートアグリを10倍～25倍に水で薄めます。
水の中にセルコートアグリを入れて溶かします。
2. 希釈表は下記のようになります。
3. 重曹、シーテンまたは展着剤を併用可 各0.1～0.2%（より効果がよい）
病害虫が多発している時はシーテン0.1～0.2%をセルコートアグリの薄めた液に加えるとより効果があります。

【セルコートアグリの希釈表（20L/1ケース）】

水量\倍率	30倍	25倍	15倍	10倍
100L	3L	4L	7L	10L
150L	5L	6L	10L	15L
200L	7L	8L	13L	20L

葉根菜類使用等は15倍～30倍で使用してください。
害虫発生時は25倍(イラガ等15倍)で使用してください。
割れ裂果防止時は10倍 or 5倍で使用してください。

【使用量】

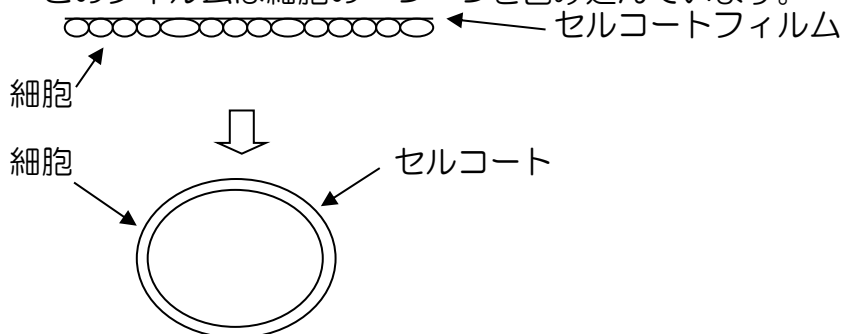
- 自動噴霧器の場合 10アールあたり80リットル～120リットル
- 手動噴霧器の場合 10アールあたり50リットル～80リットル

【使用時期と散布回数】

- 定植後、7～10日後から10日に1回散布を2～3回行います。
それ以後は月1回位です。

【図説】

- セルコートアグリは下図のように農作物をフィルムで包みこみます。
このフィルムは細胞の一つ一つを包み込んでいます。



- セルコートアグリが細胞の細胞水に浸透し、葉の成長と共にフィルムも伸びます。
- 同様に害虫に付着するとフィルムが気門を塞ぐため呼吸を妨げる効果を期待できます。
(害虫の繊毛対策として展着剤シーテンを用いると効果的である。)